

「注目と期待を集める」か？ リニアは

「 J R 東海 1 月号 より 」

組合員のみなさん！ ユニオン・国労組合員のみなさん！

社内誌1月号の、葛西会長へのインタビュー記事を見たと思います。感想はいかがですか。会長の言いたいことを勝手に要約すると、平成21年は、実力を発揮しよく持ちこたえた。東海道新幹線バイパス計画を強力に推進する。高速鉄道システムを海外へ。重い課題を果たすために決められたことを日々きちんとうる、でしょうか。

気になったことがあります。一つは、東海道新幹線バイパス計画、すなわち中央新幹線をリニアで実現するということで、「…当然、注目と期待を集めることになります」と「…自己資金、つまりお客様からいただく運賃・料金で建設し、かつ列車を運行して黒字を出せるのは世界中を見ても東京～大阪間だけ」、です。

しかし、心配なのは国鉄からの承継債務や新幹線買い取り、その他の債務が、現在も3・2兆円もあります。松本社長は、新幹線買い取りだけでも5・5兆円の債務、と言っていました。およそ20年でも半分以下の返済です。開業には何10兆円もの資金が必要とも言われ、たとえ黒字だとしても、重くのしかかってくる債務を会社の収入だけで返済できるのでしょうか。

ところで26日の新聞によれば、「25日、リニアと新幹線を米国史上に売り込む方針」という計画を発表したようですが、黒字を見込めないところに売り込んで大丈夫なのでしょうか。売り込みに成功すれば2～3%の技術料が収入としてJ R 東海に入るそうですから、期待してもいいのかもしれませんが。

もう一つは、「…しかし今後、金利が上昇する可能性もあるため、経済動向を注視し、状況に応じて設備投資よりも債務の縮減を優先しなければならぬことも出てくる…」、です。

実は2年前、松本社長は読売新聞社のインタビューに「3兆円の長期債務の返済を当面抑えても、東海道新幹線バイパスを造る方が重要だ」と強調していますが、私たちは社長と会長、2年前と現在のどちらを信じれば良いのでしょうか。

みんなで 言いましょう！

安全と健康と年休を確定してほしい と